

Topic of town まちの話題



石巻 展示や体験で「備え、確認」 防災フェア2024



日頃からの災害への備えを考えてもらう「石巻市防災フェア2024」が3月10日、イオンモール石巻で行われました。防災の知識を問うクイズラリーや災害用伝言ダイヤル(171)、新聞紙を使用したスリッパ作りの講座といったコーナーが設けられ、訪れた市民らが楽しみながら防災・減災意識を高めました。3月5日から11日までの「防災週間」にちなんで催しで、写真パネルで東日本大震災当時の様子も伝えました。



訪れた市民らが楽しみながら防災・減災意識を高めました。3月5日から11日までの「防災週間」にちなんで催しで、写真パネルで東日本大震災当時の様子も伝えました。

河北 大玉追いかけて笑顔

親子でキンボール

河北子ども会育成連合会主催の親子キンボール大会が、2月3日にビッグバンで行われました。キンボールは空気膨らませた直径1.2mのボールを使い、4人ずつ3チームで行う球技です。攻める側は「オムニキン」の掛け声の後、拾うチームを指定して腕で打ち込み、守る側は落とさず拾うことができれば攻守交替です。総勢8チームが低、高学年の部で対戦し合い、親子や仲間同士の親ばくを深めました。



河南 卒業前最後の神楽披露

北村小伝統の引き継ぎ式

市指定無形民俗文化財である「大沢南部神楽」の伝承活動を行う北村小学校で2月9日、神楽の引き継ぎ式がありました。色鮮やかな衣装に身を包んだ6年生10人が卒業前最後の舞を披露し、学校の中心を担っていく5年生に小道具の扇子を託しました。式では保存会の高橋保芳会長も見守り、「卒業しても伝承に携わってくれたらうれしい。5年生は6年生に負けない踊りを」と呼び掛けていました。



牡鹿 小・中学生が義援金を贈呈

能登被災地の復興願い

牡鹿地区の小・中学生が能登半島地震で被災地を応援しようと、2月15日、学校で集めた義援金を牡鹿総合支所へ贈りました。贈呈された義援金は小学校3校(鮎川小学校、大原小学校、寄磯小学校)と牡鹿中学校の生徒たちが自ら集めたものです。東日本大震災で甚大な被害を目にしてきた生徒達が能登半島地震を見て、被災者の救済や一日でも早い復興を願って活動しました。



北上 未来へつなぐ復興マップ

北上小・防災担当大臣賞を受賞

北上小学校5年生が作製した復興・防災マップが、令和5年度の「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」で全国第2位の「防災担当大臣賞」を受賞しました。「未来へつなぐ復興マップ」のテーマに、東日本大震災の教訓を生かした内容となっています。このマップを含め、令和3年度からのマップが北上小学校に展示されていますので、ぜひご覧ください。



桃生 卒業生にハナモモ贈呈

花咲く「桃生」願って

地域自治組織「ものう夢ネットワーク」(伊藤桂子会長)が行う、地域の団体や個人にハナモモの苗木を贈り、町を桃の花で彩る「ももの里プロジェクト」の一環として、この春に桃生中学校を卒業した生徒57人にハナモモの苗木が贈呈されました。3月4日に開催された同窓会入会式で、伊藤会長から生徒代表の武山奏心さんへ「自宅の庭など好きなところに植えてください」という言葉と一緒に苗木が贈られました。



雄勝 民宿で初のひな人形展

七段飾りなど100点

雄勝町荒地区にある民宿「海の家荒浜荘追波や」で2月25~27日、初のひな人形展示会が開かれました。飾られたのは七段飾りやつるし雛、かわいらしい和小物雑貨など100点で、いずれも女将の阿部徳子さんに友人や親戚、地域住民から寄せられたものです。来場者には阿部さん特製のおしるこ甘酒が振る舞われ、展示物を眺めながら会話を花を咲かせていました。

